

人文学部プロジェクト活動報告

人文学部は、以下のプロジェクトに戦略的経費（研究プロジェクト助成）を配分しています（右は代表者名）。

刊行物助成

英語と英米文学

独仏文学

山口地域社会研究

山口大学哲学研究会

上田 由紀子

武本 雅嗣

速水 聖子

ジュマリ・アラム

『英語と英米文学』

本誌は山口大学の英語関係教員による紀要であり、半世紀にわたって年1回発刊されてきた。

現在は掲載された論文等が山口大学のYUNOCAによってWEBで検索閲覧できるよう整えられ、以前にもまして、特定の専門家のみならず、幅広い読み手を想定した刊行物となっている。その理由の一つは、掲載可能な専門領域の幅広さである。以下が本誌に投稿可能な学術分野である。

1. 「英語学」——この分野には、主として言語そのものに焦点が当てられる論文（翻訳論等も含まれる）
2. 「英米文学」——文字媒体で発表された作品を主として扱う論文
3. 「英語教育」——教育への応用の視点を持つ論文
4. 「英語圏文化・その他」——上記三つのカテゴリー以外の論文

専門領域の幅の広さからも、学部および大学院での論文執筆への教育的利用も多いに期待される刊行物と言える。

『英語と英米文学』52号への掲載論文は、以下の3篇である。

1. English and Japanese Compliments in Book Reviews of Academic Sociolinguistic Journals

(Kayo FUJIMURA-WILSON: 経済学部・准教授)

2. An FM & LA Approach to Relative Quantifier Scope Calculation

(Yukiko UEDA: 人文学部・教授)

3. なぜ、スレイドは医者なのか——『世界の真上で』における〈新しきもの〉

(Why is Slade a Doctor?: “New Things” in *Up Above the World*)

(外山 健二: 人文学部・准教授)

昨年度の6篇に比べると、本年度は、掲載論文数こそ減ったものの、内容的には、社会言語学、理論言語学（英語学）、アメリカ文学と多岐に渡り、充実したものとなっている。

(上田由紀子)

『独仏文学』

山口大学『独仏文学』は山口大学独仏文学研究会が年1回刊行している学術雑誌で、今年度

で第 39 号となる。

山口大学独仏文学研究会はドイツ語学・文学、フランス語学・文学を研究領域としている教員のうちの希望者を正会員とし、その他、元正会員だった者のうちの希望者を名誉会員とし、さらに、ドイツ語学・文学あるいはフランス語学・文学の非常勤講師のうちの希望者を準会員としている。

第 39 号の掲載論文は次の 4 本である。

Neger, Neger, Schomsteinfeger! Zum autobiographischen Roman Hans-Jürgen Masaquois und dessen Verfilmung

Felicitas DOBRA

古フリジア語における語根音節の germ. a

下寄 正利

Les Vues sur l'Europe : André Suarès et l'Allemagne

Michel DE BOISSIEU

二次叙述を構成する en N および en Adj.

武本 雅嗣

なお、執筆者の Felicitas DOBRA は名誉会員、下寄正利と Michel DE BOISSIEU と武本雅嗣は正会員で人文学部の所属である。

(武本雅嗣)

山口地域社会研究

「山口地域社会研究」プロジェクトは山口地域社会学会の研究活動を中心として成り立っている。

2017 年は、第 43 回例会 7 月 8 日 (土)・第 44 回例会 11 月 18 日 (土) の計 2 回の研究例会を開催した。研究例会は、会員によるそれぞれの研究発表を毎回 2～3 本ずつ報告する形で行

われ、活発な意見交換がなされている。昨年に引き続き、山口県内をはじめとする社会学・民俗学・文化人類学研究者の新規入会も微増している。人文学部の現教員は横田尚俊・速水聖子 (現代社会学)、高橋征仁・桑畑洋一郎 (社会心理学)、谷部真吾・小林宏至・山口睦 (民俗学・文化人類学) の計 7 名社会学コースの全員を会員としている。

今年度は、第 43 回の研究例会において特別セッション「当事者からみた災害支援の現実と可能性」を開催し、熊本地震の際に西原村においてボランティアセンターの統括を担った実践経験について藤本延啓氏 (熊本学園大学) を招へいし、ご報告いただいた。

なお、特別セッションは科学研究費 (課題番号: 25285153 研究代表者: 横田尚俊) による研究会「東日本大震災自治体間支援研究会」主催によるものである。大学における基盤研究費の状況が厳しくなる中、外部からの研究費利用も含めて研究例会の活性化と学会活動の維持の工夫にも取り組んでいる。今後もこのような機会を通じて、他の研究組織とのネットワーク作りにも寄与することを期待したい。

2 回の研究例会では東アジア研究科の大学院生も含め多くの一般研究報告も行われた。

今年度の研究例会の成果を踏まえて、年度末に学術雑誌『やまぐち地域社会研究』(第 15 号) を刊行する予定であり、現在、編集作業を進めているところである。

(速水聖子)

山口大学哲学研究会

山口大学哲学研究会は、山口大学に所属する哲学・思想系の教員を中心とする組織で、会誌の発行、合評会、研究発表会などの活動を行っています。

現在、正会員 (学内の常勤教員である会員) は 10 名で、そのうち、人文学部の教員は、ジュ

マリ・アラム、柏木寧子、栗原剛、藤川哲、村上龍、横田蔵人、脇條靖弘の7名です。他学部の会員は、村上林造、佐野之人（教育学部）、山本勝也（経済学部）、小川仁志（国際総合科学部）の4名です。また、名誉会員（過去に山口大学に所属したことがある、学外の会員）は20名で、そのうち、人文学部の元教員は、上野修、遠藤徹、奥津聖、加藤和哉、木村武史、周藤多紀、武宮諦、田中均、外山紀久子、林文孝、古荘真敬、頼住光子の12名です。

2017年度は、例年通り、会誌『山口大学哲学研究』の発行を続けました。第24巻は2017年3月に発行しました。掲載論文は、「『心中天の網島』における罪業と救済」（栗原剛）、「ジュール・ラシュリエの『ポスト・カンティスム』：一九世紀フランスにおける近代ドイツ哲学受容の一断面」（村上龍）、「近代とポスト近代の美術理論における「主題」：Ch. ハリソン& P. ウッド編『理論にみる美術 1900-2000』による」（藤川哲）、「和の弁証法：日本哲学の再定義」（小川仁志）、の四本です。第25巻は2018年3月に発行する計画です。横田蔵人、佐野之人、小川仁志、村上龍、脇條靖弘の5名が論文を執筆しています。

その他の関連する活動として、2017年8月28日に、「2017年度山口大学哲学研究会」が開かれ、本研究会名誉会員である上野修並びに岡村康夫が、それぞれ「スピノザと人間ならざるもの」と「永劫回帰のインスピレーション」というタイトルで、発表を行いました。

人文学部より支給された「刊行物助成経費」を、印刷・製本費用の一部に充てさせて頂きました。なお本年度は、アラムと脇條の2名が運営委員を担当しました。

（ジュマリ・アラム）

山口大学人文学部異文化交流研究施設事業

交流部門事業

公開講演会

年度	開催日	講演者	国	所属機関	演題
平成29	2017. 7. 12	塩尻 和子	日本	東京国際大学特命教授 東京国際大学 国際交流研究所長 筑波大学名誉教授	日本人のイスラーム理解のために
	2017. 11. 6	林 承緯	台湾	台北芸術大学副教授	台湾に渡った日本人の 日本庶民信仰の現在 — 聞書、文字、画像、物質 など民俗資料から —

研究部門事業

研究プロジェクト

年度	プロジェクト	代表者
平成29	文学と娯楽映画の間のグリム童話『白雪姫』：言語危機・父権批判・娯楽性	エムデ・フランツ
	前漢帝国における西北辺地の出土文物の調査	馬 彪
	ドクメンタ14（カッセル）、ミュンスター彫刻プロジェクトの現地調査と資料収集による「グランド・ツアー」の変遷1997-2017	藤川 哲
	フランス国旗・国家の歴史学 — 基礎的研究 —	竹中 幸史

山口大学人文学部 異文化交流・研究活動

交流部門交流事業

1. 海外渡航 (H29.1~12)

年	渡航者名	訪問先	期間	目的	費用の出所
平成29	小林 宏至	中国	H29.1.27~2.11	実施調査	科学研究費補助金
	田中 晋作	韓国	H29.2.19~2.24	遺跡踏査	科学研究費補助金
	田中 晋作	韓国	H29.3.26~3.29	遺跡踏査	科学研究費補助金
	小林 宏至	中国	H29.3.5~3.11	実施調査	科学研究費補助金
	南雲 泰輔	イタリア	H29.3.22~3.31	遺跡踏査	科学研究費補助金
	武本 雅嗣	アメリカ・カナダ	H29.3.27~4.5	資料収集	法人運営費
	滝野 正二郎	台湾	H29.3.13~3.17	教育実習引率	法人運営費
	乾 秀行	エチオピア	H29.3.23~4.15	実地調査	科学研究費補助金
	太田 聡	アメリカ	H29.3.25~4.3	資料・データ収集	私費
	馬 彪	中国	H29.4.29~5.6	資料収集	科学研究費補助金
	藤川 哲	イタリア	H29.5.8~5.17	展覧会調査、資料収集	科学研究費補助金
	小林 宏至	中国	H29.4.29~5.3	実地調査	科学研究費補助金
	太田 聡	韓国	H29.6.16~6.18	国際学会参加のため	科学研究費補助金
	太田 聡	アメリカ	H29.7.4~8.3	国際学会参加のため	科学研究費補助金
	藤川 哲	ドイツ・フランス	H29.8.9~8.25	ドクメンタ14、ミュンスター彫刻プロジェクト調査・資料収集のため	法人運営費
	南雲 泰輔	イギリス	H29.9.10~9.17	後期ローマ帝国時代の世界認識に関する資料収集	科学研究費補助金
	根ヶ山 徹	中国	H29.9.19~9.22	元代戯曲文物の調査及び学術交流のため	法人運営費
	森野 正弘	中国	H29.9.15~9.18	国際シンポジウム参加のため	先方負担
	野坂 昭雄	韓国	H29.9.28~10.1	国際ワークショップ「東アジアから原爆文学を読み直す」に参加及び原爆資料館見学のため	科学研究費補助金

2. 科学研究費補助交付

交付年度	研究種目	課題番号	代表者	課 題 名
平成29	基盤研究(B)(基金)	26300022J	乾 秀行	少数言語のドキュメンテーションとエチオピア諸言語のダイナミズムに関する調査研究
	基盤研究(B)(補助金)	26300022H	乾 秀行	少数言語のドキュメンテーションとエチオピア諸言語のダイナミズムに関する調査研究
	基盤研究(A)	15H01891	橋本 義則	東アジアにおける都城と葬地の政治的・社会的関連に関する比較史的総合研究
	基盤研究(B)	16H03507	田中 晋作	古墳時代中期の政権構造に関する基礎的研究 —古市古墳群高塚山古墳出土資料の調査
	研究活動スタート支援	16H07005	小林 宏至	土楼建築の建造過程と親族組織の再編に関する社会人類学的研究
	基盤研究(C)	15K02249	尾崎 千佳	西山宗因年譜考証
	基盤研究(C)	15K02439	根ヶ山 徹	徳山毛利家棲息堂所蔵漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成
	基盤研究(C)	16K02451	宮原 一成	読む行為を贈与として捉える可能性と意義についての基礎的事例研究
	基盤研究(C)	16K02680	富平 美波	『続通志』「七音略」とその門法の研究
	基盤研究(C)	16K02771	岩部 浩三	人間の認知能力の複合性と総称文の多様性
	基盤研究(C)	16K02772	太田 聡	日英語対照による語形成と音韻構造に関する発展的研究
	基盤研究(C)	16K03223	谷部 真吾	祭礼の脱「暴力」化に関する民俗学的研究

交付年度	研究種目	課題番号	代表者	課 題 名
	挑戦的萌芽研究	15K12827	藤川 哲	国際美術展の企画テーマと出品作品に基づく 「現代美術主題分類システム」の構築
	挑戦的萌芽研究	16K12837	高橋 征仁	緊急避難行動の進化心理学 —台風がくると田んぼを見に出かけたくなるのはなぜか？
	挑戦的萌芽研究	16K13203	外山 健二	アメリカ文学のイスラーム
	若手研究(B)	16K16905	石田 俊	近世公武論の総合的研究
	基盤研究(C)	17K02257	栗原 剛	『葉隠』の武士道をめぐる倫理思想史学的研究 —未刊写本の翻刻と注釈作成を通して
	基盤研究(C)	17K03209	村田 裕一	道具組成からみた弥生時代山陰地域における 地域性成立と交流・鉄器化進行過程の研究
	若手研究(B)	17K13561	南雲 泰輔	後期ローマ帝国時代における世界認識の構造にかんする研究
	基盤研究(C)	17K03721	山口 睦	活性化する贈与経済についての人類学的研究
	基盤研究(C)	17K04184	桑畑 洋一郎	HTLV-1関連疾患当事者の当事者運動に関する研究
	基盤研究(A)分担	17H00834	田中 晋作	高精度同位体比分析装置を用いた古代日本における 青銅器原料の産地と採鉱状況の研究
	基盤研究(C)分担	16K04474	松田 泰代	大正～昭和戦前期の新教育学校における学校経営と 教育実践の連関に関する研究
	基盤研究(C)分担	17K02189	柏木 寧子	神仏共存神話の原理に関する倫理学的研究 —日本思想の基軸の解明—
	基盤研究(C)分担	17K02189	栗原 剛	神仏共存神話の原理に関する倫理学的研究 —日本思想の基軸の解明—
	基盤研究(C)分担	17K02691	上田 由紀子	日本手話における文末指さしの指示対象に関する統語研究
	基盤研究(B)分担	17H04561	速水 聖子	海外日本人社会における情報環境の変容と コミュニティの動態に関する比較社会学的研究
	基盤研究(B)分担	15H03140	山口 睦	東アジアの戦争観光とナショナリズム
	基盤研究(C)分担	16K02429	野坂 昭雄	旧日本映画社撮影長崎原爆映像の超高度精密化と 関連資料等による歴史的記録性の確立
	基盤研究(B)分担	26284114	南雲 泰輔	古代ギリシア・ローマ史における 新しい「衰退論」構築に向けた統合的研究の試み
	(東アジア所属分) 基盤研究(C)	17K03133	馬 彪	王莽の「新」帝国を創建する標準化改革についての 出土文物・文字による研究